

2 現地導入の事例紹介



ほ場2



定植1年目の生育期の状況（R5.6.30）

2 現地導入の事例紹介



表 1 各品種における 1 果重及び10a当たり収量（令和 4 年度～令和 5 年度）

品種	定植 3 年目（令和 4 年）		定植 4 年目（令和 5 年）	
	1 果重	10a当たり換算収量	1 果重	10a当たり換算収量
	(g)	(kg)	(g)	(kg)
奥州ロマン	359.3	3,119	236.0	2,724
シナノスイート	500.0	3,528	429.5	3,102
ぐんま名月	415.0	3,533	385.0	3,850
ふじ	489.0	3,634	345.0	3,263
ふじ（主幹形）	423.0	592	306.0	1,683

- ・ 定植 3 年目で約3,000kg/10aとなり、主幹形の約6倍となった
- ・ 定植 4 年目も約3,000kg/10aとなり、主幹形の約1.9倍となった

2 現地導入の事例紹介



🍎 園地2：小野寺洋大さん 🍎

💡 取組んでの感想

👍 メリット

- ・ 樹形が直線状、結果部位も面的に整理されているため、各種作業が楽なこと
- ・ 日当たりが良く、果皮着色が良好
- ・ 果実肥大が良い

👎 デメリット

- ・ 導入コストが高いこと
- ・ 経済樹齢がどのくらい続くのか分からないこと
- ・ 苗木本数が多いため、ひこばえ切りが大変



2 現地導入の事例紹介



園地3：小野寺武司さん
小野寺祐喜さん



【ほ場1】R4に21a
(新植、事業活用)

※R6拡大予定



栽培様式

	ほ場1 (R2定植)
列間	3.5m
樹間	0.8m程度
主枝高	70cm
植栽本数	575本/21a
台木	M.26・マルバ
導入品種	「奥州ロマン」 「シナノゴールド」/M9ガノ・マルバ 「ぐんま名月」 「ふじ」 「はるか」 他

2 現地導入の事例紹介



ほ場 1



定植 1 年目の定植後の状況 (R4.6.10)

2 現地導入の事例紹介



ほ場 1



定植2年目の休眠期の状況（R6.2.5）

2 現地導入の事例紹介



園地3：小野寺武司さん
小野寺祐喜さん



取組んでの感想

- 息子の就農をきっかけに令和4年度に農地を借りてJV栽培を開始
- 購入した苗をそのままつなげたので樹間が狭くなってしまった
- 約20mで1ユニットとし、間に作業道を設けているため作業がしやすい
- ユニットごとに様々な品種を定植しているため受粉の心配が少ない



「革新的技術開発・緊急展開事業」
(うち人工知能未来農業創造プロジェクト)

「果実生産の大幅な省力化に向けた作業用機械の
自動化・ロボット化と機械化樹形の開発」

リンゴジョイントV字樹 省力栽培マニュアル

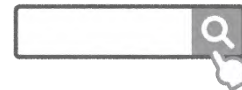


宮城県農業・園芸総合研究所

リンゴJV栽培の詳しい技術は

「リンゴジョイントV字樹省力栽培マニュアル」
(宮城県農業・園芸総合研究所作成)

を御覧ください。



リンゴジョイントマニュアル



ご清聴
ありがとうございました！